

緑の風 FAX版



JR 東労組ホームページ

No.15 2021年8月11日 JR東労組

いま現場で何が起きている？

シリーズ⑤

脅しには強く抗議します!!

あるバス職場で

夏季手当妥結結果の組合員の声を分会掲示板に掲示したら、現場長から呼び出されました。現場長から「規律に反している。掲示板を貸せなくなるかも。現場ではなく**本社**が貸し出ししている。貸すも貸さないも**本社次第**」と言われました。



その後、再度呼び出された分会長は、現場長から「掲示に『ダイヤがきつい』とあった。そんなにきついなら楽にしてあげましょう。その代わり 20 人転勤が発生すると**本社**が言っている。掲示物だって訴訟もあり得る」と言われたので、**脅しであると強く抗議**しました。



分会として現場長に **20 人転勤の根拠を聞くと**、「そのような方法もあるということ。その話は**本社**からきている。私は**本社**の人間ではないし判断しているわけではない」というのです。

ちなみに、掲示した組合員の声には「ダイヤがきついから乗りたくない」とは書かれていません。それなのに、夏季手当に対する組合員の悲痛な声を「ダイヤがきつい」とすり替え、脅しともとれる言動は許されることでしょうか。

JR 東労組は、組合員の生活実感・労働実感を踏まえたたたかいをつくり出してきました。嘘や誤魔化しを見抜くためにも、職場現実を正しく掴むことが重要なポイントの一つではないでしょうか。そして、根拠を明確にすることは、非常に大事なことです。

**私たちの目的を阻害するものを許さず
働きやすい職場をつくり出そう!**